

ルールを守って 自転車に乗ろう



交差点を渡る練習をする児童たち

5月17日、美濃山小学校で自転車交通安全教室が行われ、参加した1年生から6年生までの児童約80人が、自転車の交通ルールを学びました。同教室は、児童に安全に自転車で乗ってもらおうと毎年行われてお

免許証を受け取る児童たち



り、5年生になると実技に筆記を加えた試験も行われます。はじめに、八幡警察署員が絵を使って児童たちに「自転車は車の仲間なので、道路は左側を走る」などの自転車の交通ルールについて説明しました。

その後、児童たちは信号のある交差点や見通しの悪い曲がり角を再現した模擬道路に挑戦。署員に説明してもらったことを意識し、地域の人にも教えてもらいながら自転車を走らせていました。

また、1・5メートルにピンを置いたスラロームや幅30センチ、距離10メートルの直線を15秒以上かけて走るコースも用意され、児童たちは楽しみながらも、真剣に取り組んでいました。

同教室の最後には、児童たちに顔写真入りの免許証が配られ、交通ルールを守って自転車に乗ることを約束していました。

水難事故を想定し訓練

これからの季節、水難事故が発生する事態に備え、市消防本部が5月12日～15日の4日間、宇治川御幸橋付近で水難救助訓練を行いました。隊員たちは本番を意識し、一つ一つの動きをしっかりと確認しながら訓練に励みました。

同訓練は、水難現場における救助活動などの技術の向上を目的に毎年実施しています。また、初日には八幡警察署員も参加し、水難事故時のお互いの連携などの確認も行いました。

救助訓練では、人形を水難者に見立て、川上から流された想定。3人1組で乗り込んだ2艇の救命ボートで救助に向かいました。隊員たちは、人形を確認すると、そこに向かって勢いよくボートを走らせました。そして、近づいてくるとスピードを落としてそっと人形のそばに寄り、手際よく引き上げていました。

また、救命浮輪を発射する空気式救命索発射銃の発射方法も確認。遠方にいる水難者を救助する事態も想定して訓練しました。



水難者に見立てた人形を引き上げる隊員たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

講師に脳科学者 澤口俊之さん

フジテレビ系列で放送中の「ホンマでっか!?TV」でもおなじみの澤口俊之さん(脳科学者・人間性脳科学研究所所長)を講師に招いた生涯学習開講式記念講演会が5月18日、生涯学習センターで開催されました。

澤口さんは「脳を活かして健康ライフ」をテーマに講演し、会場を埋め尽くした約250人の市民からは、メモを取ったりしながら講演に聞き入っていました。

澤口さんは、前頭前野が担う、脳の各領域を監督する能力を人間性知能(HQ)と呼び、夢や目的に向かって計画を立てて努力していく能力や理性・協調性といった社会的な関係を良くする能力を主に司っていると説明。サッカーにおいて、監督がよいとチームが勝つと同様に、人においてもHQが高いと人生が上手いくという例を、様々なデータを交えて紹介していました。

また、HQは年齢とともに低下する傾向があるが、有酸素運動や生涯にわたって夢を持つことでHQが向上し、脳が若返り、健康につながるという話を聞いていました。

脳を活かして健康ライフ

来場者の質問に答える澤口さん



お母さんへ いつもありがとう



お母さんにプレゼントを手渡す園児たち

「母の日」が間近に迫った5月9日、八幡第二幼稚園の園児たちが、お母さんに日頃の感謝の気持ちを込めたプレゼントを手渡しました。

プレゼントはお母さんに喜んでもらうと、園児たちが手作りしました。3歳児は木箱にビーズやタイルをちりばめた宝石箱、4歳児はレースやカラフルな生地を使ったシュシュ。

5歳児は、透明の瓶の中に色づけた保冷剤を重ねて、バラやグレープフ

ルーツなどの香りをつけた芳香剤。さらに、針と糸を使って生地を縫い、綿を詰めて作ったお母さんの顔をふたに飾りつけました。

教室にお母さんたちが入ってくると、プレゼントを内緒にしようと、背中の後ろに隠す園児たち。そして、お母さんに日頃の感謝の気持ちを込めて、「いつもありがとう」の言葉と一緒にプレゼントを手渡しました。

受け取ったお母さんたちからは笑顔があふれ、あまりのうれしさに泣いてしまうお母さんも。そんな姿を見て、園児たちもとてもうれしそうでした。

母の日のプレゼント